京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲特別欄料金三割増
發行兼編輯人 高木久馬太郎
印刷人 松久助一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六三番 振替口座東京四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

雜報

●第二期徵税

平南 平南道に於ける第二期徵税は當八月及び九月より着手せらるゝ筈にて中にも水害のため其の徵收困難なるべしと豫測する向もある由なれど税務當局者の言によれば今回の水害は南道全体により觀るときは一小部分に過ぎざるのみならず本年の農作は甚だ良好なる見込なれば納税者に於て苦痛を感ずるが如き事なかるべし實際をいへば例年水量不足の爲めに豫期以上の農作を期し得ざりしものが本年は出水及び豪雨によりて豫て水量不足の水田及び陸稻に多大の利益を與へ又雜穀の作物も一般に良好なる方なるを以て例年に比すれば寧ろ一二割以上の豊作を見るべく旁々第二期の徵税事務には何等の影響なく最初の豫定額通り完納さるべき見込なりと

●平安農工債券發行

平安農工銀行にては曩に農工債券を發行し來りしが近時各農工銀行の業務擴張發展に伴ひ資金増加の必要起り未拂株金の拂込乃至債券發行の事あるに際し同行にても第二回農工債券發行の計畫を立て其第一回債券より多額に且つ有利の條件にて發表募集のことゝなるべく已に其件につき七月二十三日の定期株主總會に於て募集の條件と一切役員に委任せんことを計る所ありたるも出席主數定數に充たざりしため確定せず更に來る十三日臨時株主總會を開きて問ふ筈なるが農商工部其他關係銀行側とも已に大体の協議を經たれば發表後の募債は概ね順調なるべしと

●七月中砂金買收額

韓銀平壤支店七月中砂金買入高を聞くに買入七十三貫九百十匁六六此代金二十七萬六千三百三十圓七十七錢輸出七十一貫三百四十一匁八代金廿六万八千三百廿三圓九十四錢なるが前月に比し買入高約二貫目減少せしは主として洪水の影響を受けたるものなり其後天候恢復にともに産出高は舊に復し本月は益々増加の見込なりと云ふ因に今回の豪雨にて金山の被害は極めて微々たるものにして作用を中止したる鑛山は之れなきが如しと

●南浦の學校敷地踏査

過日の同地民會に於ける南浦小學校現在敷地擴張に關する件實地踏査は一日午後一時より長富、富田、有本、原仲、清水各議員出張して現在學校居留地會所有土地の踏査を行ひたり其の結果居留地會經營に係る校地南側道路を廢して共に編入し得ると認むるに依り速かに隣地の所有者と交渉開く可き事民會議一致の意見なりと民長原田鐵策氏宛答申書提出したりと

●程度の話

敎學士

中位の云ふ位は京都にも無いと云ふ諺があるが實に本當だ中位は正一位以上を意味すると云ふ事だろう即ち程度の事だ嘘を誇るのは誰も惡いと知つて居るが古來如何なる聖人君子でも一生涯の内に一度も嘘を言はぬ人もあるまいううすると嘘も或る程度迄は差支い無い樣にも思はれる或る學者などは禮は丸で嘘であると説明して居る餘り極端ではあるが薩張理屈が無い樣でもないいやな客に訪問されて長居などさるゝと早く歸つて呉れゝばよいと思ふ事もある併し客に對しては君はいやだから早く歸れとも云へぬまあゆつくり御話し成さいと云ふが通例だ若し此場合に思ふ存分を正直に露骨に云へば乾度非禮の批難を免れまい若し夫れ人を訪問して酒食の馳走になる料理が拙い甘くないでも賞めて食ふが通例だ若し正直に拙い甘くないと云つたなら無禮になるは勿論の事だそうすると禮の正味は嘘が多量に含まれてあるようだ禮は社交上必要なりとすれば嘘も同樣であると論結せざるを得んやだ此所が程度問題の研究を要する所で即ち嘘の遣ひ分けの六ケしき此點である若し嘘の分量を度量衡にてハカル事が出來て何貫目以下何尺以下何升以下は使用しても差支無い其以上は認可せずと云ふ樣な法律規則の發布でも見る樣に成らざる限りは此問題の解決は容易でない獨り嘘の遣ひ分けや程度問題のみならず諸般の事に付て此程度と云ふ事は頗る六かしいものである詳説すると非常に長くなる吾輩は三箇年間研究して未だ能く解らない馬鹿で解らないか六かしくて分らぬのか兎に角分らない天下國家を論議するも頗る少くあるまいが日常卑近の事で研究を要する諸問題が澤山ある昔ギリシヤに天文學者あり夜行には必ず天のみを見て歩いた或る晩誤て古井に轉落して死んだとある隨分非常識な話だ當世何此類の人がある樣だからこんな御話しとして見た譯だ。

外事一束

▲伊太利移民南米亞爾然丁の檢査嚴重の爲め事實上疎外さるゝ伊政府も自抑制し
▲獨帝 英相の演説の爲に佛不屈りしを赫怒す然獨民戰を不好赫怒も狂言也
▲紐育 全新聞東郷熱に罹り記事肖像を掲げざるなし大將三日來着すべしと
▲清國 の商領及蘭殖民地に領事館設置條約七月末批准了る手點清商保護任
▲袁世凱大臣の懇願に依り慶王辭職と共に出廬暴閣に列す可しと觀す如何
▲清帝 安徽省水害を傷み御手許金五萬兩を下賜せらるゝ從來希聞の盛徳也
▲露國 極東移民頗る不振移民も本國に歸還する多し蓋耕作絶望の地なりと
▲英國 政局逆戻新貴族增加不明瞭卿強硬政府腰弱く否認案來週迄延期さる
▲獨帝 頑强摩洛問題に關する對佛談判頓挫し形勢危急なりと但内容不發表
▲英陸 軍少佐波斯内政に參與す露公使權衡説を出し同樣の任命を要求すと
▲南極 探險隊後援會の送金なく非常に困窮開南丸修繕費滯在費支出不能と
▲哈爾賓の東百五十哩里小嶺站附近に支那人一名鼠疫に罹り漫延の虞あり
▲乃木大將君士坦丁堡の歡迎宴中大火起り陸相負傷し大將消防を指揮すと
▲關東 都督府は達上閉鎖の爲に禁煙事業に着意し管内居住清人吸煙を嚴禁

文苑

●思ひの記

岸溪舟

暑さと不平とに煩悶して夏の日中を、かてゝし吾には夕まくれて縁先に涼風を浴びて始めて暑熱も不平も拭ふが如く去りて漸く人心地に復した隣家に聞ゆる床しき琴觀鐵の奏ずる妙なる聲に靈國の不平は反りて新しき愉快なる希望の光りを喚起せしめたのであり

雜録

◎病床より（四）

花眠庵主人

◎自分は安心を得んとし超脱を黯めんとして洗禮を受けた、參禪もした見た
◎然其人の子の餘りに罪の深さか、何者の酬ひも得なんだ
◎前年鎌倉某寺に參禪した事があつた時の禪師某の曰はくお前さんは年の若いのに參禪は感心じやようた氣が附かれた然し參禪てふは形式の心じや耻目だ何事も一心之れが肝要である鰯の頭も信心からと曰ふ下世話にもある程に鳥鐵ソツトの辛氣苦勞で厭氣が出る樣では何にもならぬ
◎都々一の一つも歌つて浮世三昧を茶化した方が餘程增しだよ然し此心あつて初めて參禪も出來奥義も究め得るてふが出來るものじやてハア、、……
◎訓せらるゝのか戒められたのか嗤せられたのか嗤はれたのか一向に乃公解得なかつた、然し子今初めて遥般の消息を解することが得た矢張り齡の甲より年の功じやわい
◎信心!! 實際この心無ければ皆無じや皆目じや心誠とに之を求めば物皆吾師なりだ
◎何の處か聖地ならざらん今更に基督足跡をバンフクイに探すは愚なる哉肉は盆なし靈はもとより宇宙に滿てるものを假令耶蘇の正札付の白骨を見得たりとも何かせん、明治三十九年聖地を踏んで歸りたる德富先生の壯語である
然り何處か聖地ならざらん!! 誠者天の道なればなりだ

召使お初

第百二十二回　黒法師



あはれお察は天翔ける翼無かりき、あはれお察は切なる思ひを、父の許に知らすべき手術なかりき。

嫂にはお遣より與へたる御符と、柴舟の銘ある香とを納めて、泣くにも泣かれず、庭の中を彼方此方したりき、夕陽は落ちんとして未ちず、局々に「燈火を」と聲聞えねて、簑垣の際に掛を傷む蟲の聲頻りなり

「それにお紐しなるるは、お察でのござりませぬか」

不意に聲掛けて、長局の緣の端より起ち出づるは、象てより顔を見知れる御使番お君なり、太き眉を顰めながらお察の側へ近づき寄る。



「お君どのか、冷々と好いお天氣でござります」

お使番はお奥の中にても卑しき身分なりき、お代參のお供に立つ外、お文遣の到りたる時、受けてお廣敷へ渡すを勤めとす、勿論お目見得以下のものなり。

「今晩何處を露さるゝのでござります、見れば何處かへお使にでも出させる樣にお受けられます、お道樣御用でもござりますかな」

「いね」とお察は心ならず「お上の御用ではござりませぬ、私父急病との知らせでござりましたで、旦那樣お暇を戴き、只今から宿へ下らうと存じた處、一歩違ひで御門限でござりまして喃」

「そゝ、それはお困り、外々ならぬお父樣お見舞ひとあらせられるに、お情の無なことでござります」

「御門番衆へも、樣々御願ひ申し上げたでござりまするが、一向お取り上げござりませぬ、勿論此方から無理なお願ひ致すのではござりまするがな」と云ひかけて涙含む、身は此處にありながら心は父の枕邊へ飛び行く思ひなり

「御門限とは申し條、それが無理になる筈もござりませぬを、ちよと開けて呉れても好いを、門番衆は意地の惡いものではござりませぬ」とお君は不思議に同情の目を光らせて「それで何うなさるお心でござります」

「お父御御急病とござりますれば、一入一念翔ける翼無い身を悲みまする」

「平時御病氣はなるまいを、扉一重に御孝行の御心を隔てられて、此處にのめ〳〵御嘆きなさせられる、お胸の中御推量」とお君は兩眼に涙さへ浮め「實は私もあなた同樣の憂ひ目見たことござります」

「はて、あなた樣も……」とお察は聞かず「この噂りなき同情者を得たるを歡び「その嘆きを見させられたでござりまするか」

「去年の春でござりました、私は父母大病の知らせでござりましてな」

「そゝ〳〵」とお察は我身に詰されて

「さぞお嘆きあらせられたでござりませう喃」

「恰ど日の暮れ、お切手御門は鎖されてござります、御門番衆へさま〴〵お願ひ申したれど、態と聞き入れてござりませぬ、さればとて母の大病、その夜に迫ると聞きましては、安閑ともしてあられず、夜一夜を空しうして、今生の暇乞ひせの樣の事あつては、此上もない不孝、人と生れた甲斐も無いと存じ付き、恐しい手術もて、お屋敷を逃れ出たでござりす」

「まあなた樣」とお察は惘れて「そうしてお忍びなされたでござります」

「高い聲では申されませぬが、何事も孝行、身の安危を思ふ時ではないと存じ、お聞きなされませ、宵暗の暗まぎれに、塀を越えて出たのでござります」と云ひかけて、お君は四邊を見返りき。

▲看護婦入用▼

志望者は至急本社仁川支局へ申込まるべし

東京電報

▲郵便爲替條約　我政府が外國郵便爲替條約締結に關して交渉を開始したる國は左の如し
印度、濠州、土耳古、海峽殖民地、比律賓、英領北ボルネオ、佛領ニウカレドニア

▲曆本配布變更　曆本及太麻は從來神宮奉齋會に於て頒布し來りしが種々の惡弊生じ遂には敬神思想を阻害するに至るの虞あるを以て內務省は明治四十五年度より別個の方法に依り頒布すべしと

▲低氣壓去らず　低氣壓は一は紀州半島の南東方海上に在り一は四國沖に在りて與動せず今後北東に向つて進行すべき模樣あり東京方面へ心悩々たり

▲艦政本部長　海軍造船總監小幡文三郎氏は艦政本部長に補せられたり

▲日墺暫定條約內容　日墺間暫定取極の內容は最惠國の待遇を相互に約せるものにして日諾、日瑞間の取極に等し

▲米國と東鄕大將　東鄕大將は十二日紐育着の豫定なるが米政府は盛んなる歡待の準備をなし歡迎費一萬弗支出を決議しフロリダ艦上に饗宴を張る筈なり而して大將の滯米期間十七日間なり

▲日墺暫定條約　日墺間條約暫定取極は三日維納に於て調印を了したる旨本日外務省に公電ありたり

▲水產貿易調査　對淸水產貿易調査の爲め南商務官は樺太北海道に出發せり

▲戶田長官歸省　湛英宮殿下に隨行の戶田式部長官は四日門司に歸着す

▲牧師團日光行　入京以來到る所に於て歡迎を受けつゝある鮮人牧師觀察團の一行は四日日光見物に赴けり

雜報

●寺內總督出發　寺內總督は豫報の如く五日午前七時卅分南大門發臨時列車にて東上の途に就けり南大門停車場には大久保軍司令官、山縣總監、各部長官、局長始め總督府屬僚、朝鮮貴族、各國領事、銀行會社の重役其他民間の有力者新聞記者通信員及貴婦人等の盛なる見送ありたり因に總督隨行員は外波武官、藤田副官なり

●王世子御出發　王世子殿下には別項記載の如く寺內總督と同行にて東上の途に就かせ總督見送り

●總監及び貴族の見送り　王世子殿下並に寺內總督東上に就き明石警務總長、李埈鎔、李海昇侯、李址鎔伯、李容植子等は釜山迄見送れり

●愛國婦人會員の送迎　王世子殿下御退京に際し愛國婦人會本部及水原、大邱、釜山の各委員部會員有志は何れも所定の場所に整列し送迎をなしたり

●教監講習會　來る七日(月曜日)より當地日の出小學校に開會する新任公立普通學校教監講習會日割を聞くに左の如し
▲七日　局長訓話、朝鮮語▲八日　朝鮮語、朝鮮教育法規▲九日　朝鮮語教科書取扱方▲十日　朝鮮語、朝鮮教育の沿革及現狀▲十一日　朝鮮語、教科書取扱方▲十二日　朝鮮語、同地理▲十三日　朝鮮語、朝鮮歷史▲十四日　同上▲十五日　朝鮮語、朝鮮歷史▲十六日　同上▲十七日　朝鮮語、國語教授法▲十八日　同上▲十九日　同上▲二十日　休會▲二十一日乃至二十六日　朝鮮語、國語教授法
因に各科目講師は左の如し
一朝鮮語　玄、李　兩講師
一教育法規　弓削　講師
一朝鮮教育の沿革及現狀　石田　講師
一朝鮮地理　上田　講師
一朝鮮歷史　廣田　講師
一國語教授法　立柄、山口　兩講師
一教科書取扱方　小田　講師
以上の外科外講演日割及氏名は追て報導すべし

●東洋協會支部長　山縣政務總監には東洋協會々頭桂公爵の懇囑に依り此程同會朝鮮支部長たることを承諾せりといふ

●東洋協會支部規定　東洋協會朝鮮支部にては今回本會頭の承諾を得て支部規定を左の如く制定したり
(一)東洋協會は京城に朝鮮支部を便宜の地に委員部を置く
(二)朝鮮支部に支部長、支部副長、幹事及事務委員を委員部に委員長、副委員長、委員及事務委員を置く支部長、支部副長、幹事は會頭之を囑託し委員長、副委員長、委員及事務委員は支部長之を囑託す
(三)朝鮮支部管掌の事項は左の如し
一、會員を募集し會費を收集すること
二、會員の入退其他異動に關する手續を爲すこと
三、寄附の金品を受領すること
四、本會附屬專門學校京城分校を監督すること
五、其他會務擴張上必要なる事項を實行すること

●汽船會社補助漁港使用詮議　既報の如く釜山の大池、元山の吉田其の他沿岸航路汽船に關係を有する各地の人士に依りて計畫されたる朝鮮汽船會社は愈に五箇年間の豫定にて一箇年二十四萬圓宛の補助金下附を其の筋に出願定し居るが何れ補助額の如きは來年度の豫算編成後に非ざれば確定せず從つて今のところ不明なり尙釜山漁港の使用法は水產會社又は仲買商に貸與するか其の他のものに使用せしむるかだ一定せず昨今詮議中なりと鈴木司稅局長は語れり

●煙草試作成蹟　大邱及太田に於ける煙草試作の狀況を聞くに本年は氣候不順のため苗の生育は昨年の同期に比し稍々遲緩の感ありたるも管理に注意を拂ひたる結果何等障害を認めず而して朝鮮種の如き事越葉枠香草を除き生育良好米國種の「エルローオロメコ」及「ヘスター」は稍劣ると雖も槪して差異なく內國種に於ても遠州葉稍々劣るあるのみにて指宿葉野葉は良好の成育を示し其他肥料試驗區及施肥區の如き何れも整齊且つ良好の生育なりと云ふ

●七月末の郵便貯金　郵便爲替貯金管理所にて取扱ひたる四十四年七月末日郵便貯金現計は人員十五万九千八百六十一人金額三百七十六萬三千二百五十一圓四十八錢八厘にして之を四十三年七月末日現計に比すれば人員十二萬二千百五十三人金額二百五十一萬九千二百七十二圓三十二錢七厘なるを以て增加步合人員三割〇九厘金額四割九分四厘なり

●七月中鹽產額　專賣局に於ける七月中の鹽生產額は雨期に際したるを以て頗る減少し廣梁灣出張所七十六万斤朱安出張所十萬七千斤に過ぎずと

●授產場の現況　京畿道內各授產場に於ける授產者は七月末日の現在によれば兩班百十一、儒生二百九名常民二十六合計三百四十六名にして內五十名は女子なりと云ふ而して別に水原外七ヶ所の授產場にて柞蠶飼育のため目下收容中に屬する授產者は定員三十七名あり又京城府に於ける製林授產者は定員三十六名あり之等各種を通ずれば京畿道授產場にて每年四百十八名を收容し授產する次第にて授產者の狀況よりすれば主として儒生兩班に授產するの目的を達しつゝありと云ふ因みに右授產者の外自費見習生たるもの京城二人、廣州、江華各五人、陽智、陽州各一人計十四人なりと云ふ

●土地技術員養成の近狀　土地調査局技術員養成所にては先般京城大邱及平壤の三ヶ所に於て生徒を募集せしが其採用試驗に合格して八月一日せしめたるも所謂代へ玉も少なからざるを以て近々百餘名を陶汰する筈なりといふ而して今回入所を許したる生徒は國語數學等の學課は前年來の志望者に比し成績良好にして一般に智識の程度進步したるものゝ如く尙入學者中には外國語學校又は工業傳習所を正當に卒業したるも生活の途を得ざるが爲め養成所に再び就學したる者ありと因みに從來事務員は高等學校に於て技術員は外國語學校に於て各養成し來りたるため動もすれば統一を欠ぎたるが今回は規律正しく教育し六百餘名の學生を八班に分ち嚴重に學科品行等を監督しつゝありと云ふ

●內地人所有地　京城民團に於ける七月末日現在內地人所有土地は百〇八万千三百六十九坪にして其價格五百七十三萬九千七百七十三圓なるが前月に比し二万二千百三十四坪の面積增加を見たり

●七月中の京城金融　每年の例に洩れず客月の金融界頗る閑散を極めたり、元來朝鮮の金融は內地との移出入に制せられ秋季穀物出盛の時季は地方農民の購買力を刺戟し貨物仕入等の爲め金融繁忙を告ぐるも暑中は商業沈滯し資金需要勘く大口の事業も起らず加ふるに恩賜公債を現金に代へたるもの又は土地に放資したる額は皆預金となつて金庫中に堆積せられ遊金に苦しむの有樣なり然し小商人の引取に至つては常に金融逼迫を稱へ之れ亦無理からぬ事にして彼等は手を擴げ得らるゝ限り資產不相應の取引を爲すのみならず適當の擔保物件を有せざるを以て銀行に融通を仰ぐを得ず勞々個人間の高利なる貸借に俟ち從つて絕へず金融逼塞に苦しむの狀態なりと云々(韓銀木村理事談)

●漁業手數料　總督府令第八十九號を以て漁業に關し出願又は申請を爲す場合に於ける手數料左の如く定めらる
漁業免許願(每一件二圓)漁業權存續期間更新の申請(每一件一圓)漁業權の讓渡共有抵當又は貸付の許可願(每一件二圓)免許漁業の着手延期又は休業の許可願(每一件二圓)漁業令第二十條に依る裁決の申請(每一件五圓)漁業免許事項の變更許可願(每一件一圓)漁業免許狀の訂正又は再下付の申請(每一件五十錢)漁業令第五條第二項に依る入漁料徵收の認可申請(每一件二圓)

●電燈の改良工事　日韓瓦斯電氣會社にては今回從來使用しつゝある電燈を最新式のものに改良する事に決定し其機械は先般大倉組の手
力は從來に比し倍加する次第なりと云ふ

●漁業に關する書式　五日の官報は漁業に關し出願又は申請を爲す者の手數料漁業の名稱及諸願屆出等の書式を發表せり

●福岡縣と朝鮮漁業　福岡縣の漁業根據地經營は從來縣の補助を得て筑豐、豐前、山門奬勵協會の三團體に於て計畫を立て經營されつゝあるが團體側にては充分の擴張を期待せんとすればくれを縣營事業として施設經營するに如かずとなし更に知事に對し三團體長より稟申したる問題に關し來る七日福岡縣廳に右三團體長を召集し協議する由

●道路擴張と民團當局　既報の如く京城本町道路擴張問題は過日の民會に附議し爾來委員附托となり居るが該問題は期成同盟會にても熱心に運動し居るを以て民團當局にても可成的一日も早く解決の運びにいたるやう希望し居れりといふ

●教員講習終了式　各道內地人小學校教員夏季講習會は四日を以て豫定の如く終了したるが同日午前十一時日の出小學校に於て關屋學務局長より講習生百二十八名に對し講習證書を授與し三分一龍山小學校長總代として之を受け右終つて關屋局長より一場の訓示芳賀博士の挨拶に次で三分一龍山小學校長は一同を代表して答辭を述べ式終つて正午散會したり

●商議役員會　既報の如く四日午後二時商議所內にて開會す出席者は進、深見、近藤、執行の四氏にして議案一、店員勤續者表彰式擧行の件は會頭決定する迄延期する事となり二、會頭選定の件は經過の報告あり而して三日中に結果を發表する事とし三、商工調査會設立並に同會事務所を會議所內に置くの件は京城に於ける各種同業組合長會議を開催し協議の上にて調査委員撰定の案を立つる事に決定午後四時散會せし因に該調査會成立せば會議所と會員との關係を密接ならしめ一方商工業者相互間の意志の疏通及び財界に關する智識の交換等調査外の利益を收むるを得可しと

●商議會頭人選　京城商業會議所會頭撰定問題は既報の通り市原韓銀總裁に一任し居れるが聞く所によれば三井物產の淺野長七氏擇定さるべく昨今同氏の承諾を促しつゝありといふ

●漢農第二回拂込　漢湖農工銀
なるが拂込金額は一株に付五圓なりと

●仁川商議役員會　仁川商業會議所にては七日午後三時三十分より委員會を開催し副會頭稻田勝彥氏辭職の件其他二三件を付議すべしと云ふ

●牛皮改良と剝皮刀　牛皮は朝鮮の輸出產品の重要なるものなるが從來其の剝皮の際直刃刀を用ゐるため尖端にて皮面を傷け製皮後之を鞣すれば點々として刀痕を有するを以て價格上の損害少なからず朝鮮牛皮と云へば特に低廉に取扱はるゝ有樣なるを以て當局者は內地の各屠場に使用する彎刃刀を昨年より京城官設屠場に於て試用せしめし結果內地に於ける牛皮は該屠場の分に限り一般朝鮮牛皮より六割方價格高騰したるを以て今回各道管內の一、二等屠場をして該彎刃刀を剝皮に使用せしむべく農商工部より各道廳に通牒したりと云ふ

●漁業事務打合　漁業令の發布に伴ひ各種の附則を制定するの要あり尙水產組合の保護命令等に關しても主務省と交涉するの必要あるを以て水產課の渡邊事務官は農商務省と打合せのため數日前上京したりと云ふ

●牧師團散會準備　目下日本內地觀察中なる朝鮮牧師團の一行は來る十二日午後八時十分南大門驛歸京の筈なるが右に付京城教會にては同夜同教會堂に於て一行の爲め在京城內地人牧師を招致し散會式を擧行せんとて目下準備中なりと

●出水と農作物影響　過般强雨に際し出水の地方多く農作物の損害も從つて少なからざる如く噂するものあるも聞く處に依れば出水地域は農作物生產の主要なるも極めて小局部に限られ全般に亙りては農作物を流出せし如き場所少なく今日の狀態にては被害の程度も極めて微少にして槪して良好なる成績を見るべしとの事なり

●土地調査事務員の養成　土地調査に從事すべき事務員生徒二百名は去る七月廿五日卒業式を終り目下夫々出張中なるが更に次期の募集は十月中旬にして下旬入學せしむべしと云ふ

●東京京城間電線不良　東京京城間の電線に故障を生じ發信及着信共も數時間延着せり

●富籤行爲と取締　東京日本橋區株式會社工商銀行債券部は京城北部に朝鮮總代理店を設け更に各地に取扱店を置き所謂月賦販賣の方法により勸業貯蓄債券の請求を一般人
現に慶尙北道に於ては尙州に其の取扱店を設け前掲月賦販賣に關聯して更に購求者に抽籤方法により等級を設け一定の金額を給與せんことを提議しつゝあり此は明かに本年四月總督府令第四十九號に所謂射倖の方法を用ひんことを提供するに該當するものと認め明石總長は今回各道警務部長に對し此等の所業を爲さしむべからざる旨を通達したりと

●室扶斯赤痢の增加　京城民團の管內に於ける流行病最近の趨勢を聞くに去る五月中に於て赤痢二、室扶斯二、ジフテリヤ一なりしが六月中には赤痢九、室扶斯九、痘瘡一、ジフテリヤ一となり七月に入りては室扶斯卅四赤痢廿三の激增を見るの狀況となりたるにつき此際衞生の注意肝要なりと云ふ

●國分人事局長の歸省　總督の東上を見送りて馬關まで赴くべき國分人事局長は歸途暑中休暇を利用して鄕里對州嚴原に歸省すべしと云ふ

●草場書記官の兼任　司法部刑事課長草場林五郎氏は今回檢事に任ぜられ書記官を兼任する事となれり

●兩博士の出發　朝鮮林業視察の爲め帝國大學教授本田林學博士及夏季講習會講師として當地に滯在中なりし芳賀文學博士は五日午前九時南大門驛發東上したり

●飯塚理學博士の來鮮　學習院教授理學博士飯塚啓氏は朝鮮に於ける動物學研究のため來る八月十日頃來鮮の途に就くべしと云ふ

●今淵醫學博士入京　福岡醫科大學婦人科部長今淵博士は朝鮮各地視察の爲五日夜入京山本旅館へ投宿し三四日は漢城病院婦人科部長二宮醫學士とは師弟の間柄なるを以て當地滯在中漢城病院婦人科の診察に應ずる由

●奧技師の出發期　奧專賣局技師は朝鮮鹽業の視察を終へ來八月八日東上歸任すべし

●各教員の歸任　別項の如く夏季講習會は四日を以て終了したるにより講習員の一行は五日夫れ〳〵歸任したり

●度支部員の懇親會　度支部にては目下滯任中の專賣局技師奧氏の招待會を兼ね五日午後四時より龍山八景園に於て懇親會を催す由なるが出席者は鈴木局長を初め各課長以下約三十名なり

●築港祝賀決算會議　仁川築港祝賀會收支決算に付き各委員は本日午後七時より民團樓上に會合し決議報告すべしと云ふ

は其捕獲を獎勵しつゝあるが栗川郡に於ては七月五日より廿日迄の間に於て鳥八千四百十三羽、卵一萬六千四百四十五個雛一萬二千二百四十八羽を捕獲したりと云ふ

●鎭南浦の金融　市中實業の萎靡は絕へず相當の需要あり常に繁忙の趣を呈しつゝあり

私人

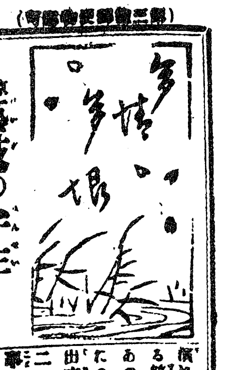
▲吉田彥太郎(理學博士)　四日浦尾旅館へ
▲藤田和彥(辯護士)　四日巴城館へ
▲永井純次郎(日本陶器株式會社製造所技師)　四日浦尾旅館へ
▲齋藤季次郎(陸軍步兵大佐)　四日營山行
▲小林一生(辯護士)　四日仁川行
▲吉川岩喜(平壤鑛業所業務課長)　四日平壤行
▲早川省三(平壤農工銀行支配人)　四日同上
▲植村晉之助(警察官)　四日大邱行

▲京城手形交換高▼

八月五日	金額	枚數
	七八、三二四、七三〇	四二三

▲治外法權▼

內閣更迭の風雲急なるに當つて流石の寺內伯もヂツトして居られず、五日早朝を以て歸途上京した、サテ今後の行動はドウカ▲之れを聞く我寺內伯は、曾ては總理の候補者であつた、而るに其後形勢一變、伯の總理說は立消となつた、蓋し伯今回の上京は新內閣組織の爲でなくて實は陸相としての進退決定の爲だ▲記者思ふに伯は現在に於ては兎に角、未來に於ては自家內閣の組織を企つる人だ、然らば如何、今度の內閣へは無論止まらぬ方が良いのだ▲サテ寺內伯が陸相の方は止るとして、然らば朝鮮總督の方はドウするかと云ふに無論專任にはなりツウもないのだ、然らば如何、伯は陸相と總督とを同時に辭し暫く閑地に就て今度の內閣の次の內閣を作るなどに勉むる事にならう▲觀測甚だ粗笨、世人の信を措くに足らざるやも知れぬども、蓋し大なる間違はない積りだ、ソレで記者は總督の今回の上京が何だか永の別れの如く思はれ、甚だ懸念に堪へぬので、繰返し、繰返し、專任となつて歸られんことを祈らざるを得ない▲不幸記者の觀測にして適中したる場合は如何、まづ第一に後繼候補者として擧らるべきが、大島關東都督次が長谷川大將而して次がソレからソレ▲ト記者の云ふのを夢だと笑ふ勿れ、由來政界の事朝を以て夕を測る能はず、近き將來に於て總督か換つたとて何も不思議はない▲近く總督府官制の改正あり、倉富、石塚、荒井等の各一等官は何れも引揚げるソウだ▲昨本紙三面記事中にあつた濟州慈惠院長牟田某の不埒なる行爲は



京城 藝妓の半生
清華亭 丸子 (五)

散々を捏ねて動かない一次君を持て餘したのは森勝さん一家斗りでない清華亭でも持て餘した、理由は申すまでもなく本紙の讀者は御推察下さるであらう、財布の貫いのは內に貨幣があるからだ命錢の入つて居らぬ財布は只の布殺も同樣である、**持て餘した揚句虐待**……とゞ云ふでもないが冷遇し出したが一次君は氣も着かず四十三年の暮を清華亭で迎ねて、**正月の五日に歸宅**した結果は即ち離緣されることを承諾した、元來一次君は決して惡人でもない狡猾でもない好人物である好人物だから他人は之れを足りないと云ふのだ無理な話だが實際世才と云ふものに缺けて居なかつたのが原因して此の不幸を見たのである、森勝次さんも兎角の評は有る人だが赤手役れ丈けの財產を作り上げただけあつて譯は判つて居る、離緣するに就て**手切金一萬五千圓**を出すとなつた併し今直ぐは遣らん、安東縣にでも行つて何かの途か立つたならば直ちに送り屆けて遣ると云ふのだ一次君が一萬五千圓の手切金を貰ふだけと知つたおつる等は、又**候之れに眼を着けた**が此れは勝次君の方の**警戒嚴重**なるので以上の如きを以て遂に目的を遂し得なんだのは一次君の爲めに幸福であつた、一次君は安東縣へ向けて出發したが間もなく何か事業を見付けたと見ねて一萬五千圓は贈與せられてけりが着いた其後は丸子少時の閑暇の淋しさを感ずつて居た所へ打つ突かつたのが下關に本社を置いてる**東洋捕鯨會社の社長岡十郎**君東拓邊の重役連を畑に招きに來た序を以て清華亭に登樓し丸子を相手に遊興した、當時の丸子は既に昔日の比に非ずで寳の方斗りでなく腕の方も**三太のお仕込**で長唄も四疊半式には慣れる位になつて居た、岡君は聞ねたる粹界の勇者だ此奴畜の割には感心とあつて御贔負は一層增した併し如何なおつるも岡君に逢つては小供同樣何うも出來た者でもない、岡君の滯在期は約二ケ月程だつたが要領を得て歸東する事となつた、今度來たらは身受けして遣るよと申し置いて小遣錢も澤山に呉いて、夫れは昨年五月であつた 丸子もナカナカ進步したものである、兎角して居る內に**東京大相撲**即ち梅、常陸の一行が來城した時に彼れの浮氣の虫は頭を擡げたのであつた

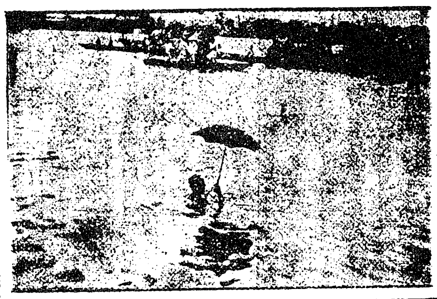
● 悲劇か喜劇か「浮かれ會計」

▽お氣の毒な院長さん

代り合ひまして代り榮も仕りません次第で御座いますす、と申すも無理のない次第で御座います、元來當人餘り榮ねる顔色に出來て居りません自分の事ながら誠に何うもお氣の毒の事に存じます樣な譯分で御座います扮本日も相變らずお色氣澤山のお噂を申上げまして隙塗と迄し代ることに致します。エ、直ぐ引つ込んでも宜いなぞは御でげすよ、錄臺はお馴染の漢城病院、院長は安藤先生と仰云つて千葉縣の方、眞實に温和い親切なものですが、何う云ふものか其の割に病院の御評判が不良からん看護婦が患者を女郎買に脫け出させたり患者の所へ男を忍ばせたり少々は他人の惡口があるにしても感心せん事斗り、一事は萬事とやら總てに取締が行屆かんので割合に懷中が何日も下痢して居ようと云ふ御愁傷お察し申します位なもので御座げす、御存しの方は御存しで御座いませう同病院の會計の野口さん鄉里で貫つた妻君と云ふ者があり乍ら田舍者は詮術がないと、自分は倫敦から東京へでも養子に行て來たかの如な口吻で料理屋だ待合だと遊び廻つてる中南山町の元待合入船でいつ子と云ふ內侍に現を拔かした結果は定りの何罪科もない妻君は鄉里の方へバイして思ふいつ子と長火鉢を間に脂下つて居たと思し召せ、話は代つて旭町二丁目の**佐藤旅館**が新に總督府中學校附屬教員養成所の賄方を受負ふ事になつたので旅館の方を誰れかに讓り渡したいとなつたのを聞き附けた前記の**野口**君直ちに**買取**つて屋號を**不二館**と改めて**情婦の中山いつ**に旅館營業を爲せて居ようと云ふ素晴らしい勢ひ、病院は收支償はず火の事が廻つて居るが野口君の方は客商賣の、扇風器が廻轉して居ようてな法でげす、然らのだに廻る火の車扇風器で煽り立てられては堪つたものでない、とは惡い洒落でげす、エーお古い文句で御座いますが「人として一つの癖はあるものよ我れには許せ敷島の道」で如何にお偉い御仁にも何か一癖は有るもので御座いますな、野口さんのお色氣の方でげす看護婦でも少々跳皮が剝けて居りますると根よくお口說きになる而して早合點の夜襲を試みてはお枕のお見舞をお受けになる事も度々ですが「虎穴に入らずんば虎兒を獲ず」ぞ不撓不屈の精力を發揮せられた結果

看護婦の靑柳靜子(二〇)

さんだと云ふのと出來合つた因果は覿面靜子さんの**お腹**はプクリップクリッと**膨れ出して五箇月**となつたので流石の安藤院長捨てても置けずと靜子さんの首は斬つたが野口君では切つても斷れぬ關係があるとかで其の儘で納まつて居るが一方靜子さんは野口さんに此のお腹の始末は何うして呉れると突き附けて居る相ですが野口さんは濟したもので『俺一人で拵へたのぢやない』へエ御退屈さま


水泳

● 興行師の恐喝

備後國三次町千百七十九番地當時本町十丁目二十九番戶土木請負業阪本爲次郎事土井爲太郎(三九)は三十九年度に渡韓せし者なるが同人は一般興業界の命筋と稱せられ興行事に關し傷害罪前科三犯を有するものなるが本年六月上旬壯優鑑田一座を爲太郎の叔父坂本吾市に於て請元となり歌舞伎座に興行せしも人氣付かず損失に歸し更らに龍山座に於て興行中片岡松之助一座興行さるゝ事京城市中は勿論龍山方面一般に廣告されし爲め一層人氣は落ちたるが愈々片岡一座當番座に乘込み開演せしより請元櫻井及姫野等を相手取り脅迫的に片岡一座を一夜自分に興行せしむるか若しくは現金百圓を提供するかを嚴談せしに櫻井等は拒絕せし事とて二日目に短銃を携へ二名の乾兒を率ゐ壽座に乘込み今晚は妻子を叔父坂本に預け自身は獨身同樣なりとて亂暴を初め興行を妨害觀客を驚したるより觀客の一人京城日報記者某氏仲裁に飛び入りしも爲太郎は鎭らざりしが結局興行部支配人たりし靑山繁ノ調定にて五十圓を提供する事になり爲太郎は直ちに新町遊廓淸月樓に至り電話にて履行を迫りたる爲め靑山は直ちに五十圓を持參し爲太郎に渡したる事警務總監部加納小野刑事探知し總監部に取調の上檢事局に送り堀江檢事の手にて豫審に附せられ此の程豫審終決公判に付せられたり

● 山道襄一氏除名

客月京城地方裁判所に於て刑事被告事件にて有罪の判決を受け服罪したる朝鮮新半島の發行人山道襄一氏(廣島縣人)は早稻田大學の出身なるが同大學校友會本部にては刑法上の罪人を出したるは同人を以て嚆矢とし校友會の體面を汚すの甚しきものなりとて次期校友大會に於て除名處分を行ふ事に內定したる由なり

● 主人の代に費消

鎭南浦廣梁灣內土木請負業上村臺一方雇人愛媛縣人赤瀨三知夫(二五)は主人の印を僞造し廣梁灣郵便局出張所より主人が受取る可き金百十八圓餘を騙取當地に逃げ來り新町大和新地寶永樓に登樓馴染の敵妓に遊興中を南部署長野佐原岸川副の四刑事に捕れ目下取調中

● パコダ公園演奏

八月六日夜よりパコダ公園にて朝鮮軍樂隊の演奏する曲目は左の如し

マーチ華盛頓通信。マタタナ、序。ワルツエル、滑稽の寡婦。合奏唱歌、綏節の曲。婚姻時合曲、ロヘングリン寺院の鐘、ノクワルチ。樂しの滊車

● 韓人の二人强盜

京畿道坡州郡坡平面陽谷里四統七戶金俊吉(二八)同所崔錫二統一戶崔衡率(三四)の二名は共謀し四十一年十二月以降數十ケ所に於て金品を强奪し其の筋に捕はれ檢事局に送られ京城地方裁判所の公判に付せられたり

● 一等主計の無錢遊興

龍山元町四丁目瀨田洋服店仕立職人山口縣人阪本文作(二七)は去月中旬新町遊廓春■樓に登樓部を敵娼に一等主計岡田孝と僞名十二圓餘の無錢遊興を爲し行衛を晦したるを南部署刑事に捕れ目下取調中

● 桃山遊廓の新妓

本籍東京市京橋區靈岸島濱町九番地佐々木マツ(二二)は金蔦と稱し又岡山縣岡山市中山下町百十八番戶の一後藤フサ(二一)は吹龍と稱して何れも今回龍山八景園より第一樓妓とし、出稼今後ゝに稼業を營む豫定

● 仁川のボヤ

仁川花町三丁目七番地の十七百藤原平野淸之助方にて一昨夜十時頃家人就眠後洋燈の壺に火が入り天井に燃移らんとし居たる一刹那隣家の者認め雨戶を踏み破りて現場に至り疊を取て直ちに消し止む

● 龍山の臨室扶斯

龍山元町三丁目七番戶楠常代(三〇)は去月廿七日より臨室扶斯に罹り龍山錦町松村醫院へ收容せらる

● 控訴棄却

小柳吉松(五七)宮崎安太郎(三七)等の賭博犯は控訴棄却されたり

日曜集會

● 日本基督教會(旭町四丁目) 六日午前九時より日曜學校同十時より禮拜說教午後八時より傳道說教あり

(朝)十字架上の七言　秋月牧師

(夕)靑年の宗教壯年の宗教　同上

● メソヂスト教會(旭町二丁目) 六日午前十時より禮拜說教あり午後八時より傳道說教ありと

(朝)十字架　宗教　藤岡牧師

(夕)題未定　同上

● 京城基督教會(相生町) 六日午前十時より禮拜說教午後八時より傳道說教

(朝)愛の意義　米澤牧師

(夕)自己統制の能力　渡瀨牧師

● 微笑會 六日午后四時より初音町二丁目臨濟寺に於て圓山太嶺禪師の無盡燈論提唱あり

● 禪學唱 若草町一丁目曹洞宗別大本山別院內不一會にては今日曜午前九時より田中道■老師の無門關並般若心經の提唱あり 來聽隨意

● 大相撲日延

仁川に於ける太刀國見一行の大相撲は大入の爲め五、六の二日間に延べをなせり從つて繰込も自然延引することと勿論

▲四日目取組

敷島(勝田嶽)　大崎(金の花)
荊藻川(天王山)　小野崎(玉の川)
寒玉子(太刀音)　五十嵐(鏡川)
陣立(ヶ汐)　平の石(土州山)
鳳凰(國見山)　伊勢濱
有明(黑瀨川)　太刀山

● 演藝だより

▲歌舞伎座　連夜例の活動寫眞を開演

▲浪花館　浪花光飄一座の浪花節にて大入滿員の爲め木戶錢代とも無料

▲龍山座　六日の替り狂言は『心の迷ひ』『大丈夫』『お染久松野崎村』『千本櫻道行』にして又七日の替り狂言は『ローストラップ』『安達ヶ原三段目』『女■斷念』『無言夫婦』等なりと

▲壽座　好人氣に打ち續けつゝある木村猛夫一行の替り狂言は『寒椿三日月お六』十五幕二十九場を六、七、八の三日續きにて相勤むる由役割左の如し

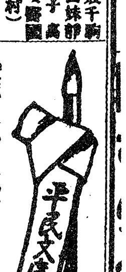
魚屋新助(福澤)仲居お幸、藝妓千駒(鈴木)刑事川口八郎(桃井)龍田妹節子、澤井)花魁櫻木事おかね(君子)高島實(寺田)醫學治郎吉(富井)女醫國松玉枝、花魁白菊實はお六(木村)

● お伽芝居の開催
(家庭新聞社主催)

朝鮮家庭新聞社にては本月十、十一の兩日午後六時半より壽座に於て兒童の爲めに教訓お伽芝居を開催する由なるが當地に於ては初めての事とて云ひ演者は內地に於て教訓お伽芝居を演じたる經驗を有する我の家信濃屋大門亭合同一座なれば多大の成功を收むる事なるべく猶は劇場には扇風器寄附接待所樂隊の奏樂あり總て四幕にて內お伽芝居二、歷史的教訓二幕午後十時迄には終了せしむべく兒童は保護者あるときは何人にても無料にして可成多く同伴する事を希望すと吾人は家庭娛樂の乏しき當地に於て斯の如き有益なる計畫の起りたるを喜び其の成功を祈るものなり

● 靑木堂の階上營業

兼て新築中なりし靑木堂も落成して既に引き移つて營業を開始したことは知らるゝ通りにして又其靑木堂が本町一丁目の洋食料品器具の外總ての西洋雜貨文房具類のデパートメントを新設した事も階上に西洋料理を開業した事も御存じの如くなるが內地では西洋食料品商が西洋料理を兼營してるのも尠くないが當地では之れを以て嚆矢とする、食堂は夜が明けると寢る迄開けつ放し旭の生ビールの一杯賣りから紅茶コーヒーの一杯も御自由なりと猶ほアイスクリームの風味と洋食献立は每日取り替ねると云ふ電話は四一〇番と四二一番



▲本町六丁目の郵便所へ本日番り電報を打たん用紙を請求した所が一枚呉れた三十錢の切手買に五十錢銀貨を出した所がツリが無いから隣りで替ねてもらいなさいと局員が申すから隣へ行た所が兩替賃一錢五厘差引かれた仕方が無と思つて歸つた跡は隣りの農具屋は局の妻君の內職に兩替屋をして居るどの事だ所でツリ錢が有ても無い成程妻君の內職に收入を增す目的か(橫山生)▲延いて官府の威嚴を損することなきや警度か忠告しても使むる所なきは何うした譯か不思議千萬である監督官の緣邊でもあるのぢやないか殆んど頑冥不靈と云ふのか傍若無人と云ふのか兒に角確乎不拔の精神を以て公衆に反抗してるのだナ(小僧)▲龍山櫻町のカルボー家を立退かして貰ひたい(困り生)▲貴紙四日發行平民文庫欄に滿韓日報社員某が大和新町遊廓一同より廣告の爲め名刺を强請爲したる旨掲載しありたるも滿韓日報社員は斷じて左樣なものはありません万一有るとすれば或は何か爲めにする者ありて社名を濫用せしものと思はれます御參考迄申上げて置きます(八月四日長谷川滿韓日報支社內小僧)▲小生は京城に數ヶ月居たる者至る所の郵便局所に就て滿足を得て門を出でし事なし然るに本町四丁目角の郵便所は實に叮嚀親切なり云々(瑞山よりエスケー生)▲小中と云ふ看護婦は○○局に奉職せる亭主ありながら靑木と云ふ水兼の雜貨屋と何んとか云ふのは沒です(係)

諸公債諸株券 ●現物賣買
迅速確實に御取扱可申候 兼業
既製洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目 大阪野村德七代理店 田中友吉商店
電話九九三 電略（タ）

神經をおちつめ 腦病を全治す
島村醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は、腦病神經病に奇効を奏し、便通を心能し、逆上を引下げ、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す

腦病全治新藥
健腦丸
記憶力惡き人 頭痛する人 神經衰弱にて氣分鬱ぐ人 常に腦神經を勞する人の必用藥は獨り本劑のみ也
（價一日分十錢、七日分四十五錢、二週分八十五錢、三週分全一圓）
本舖大阪心齋橋筋二丁目 丹平商會藥房
分店大阪平野町北 丹平商會分店
支店東京日本橋室町 丹平商會支店
◎京城は全國有名藥店に有之候

尾州半田
清酢 中埜本家
特約販賣 仁川 京城 髙雄支店

飲めば氣持よくなる
消化と毒けし
必ず懷中せよ何人も
JINTAN ジンタン 인단 仁丹

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九百四番 振替口座京城千六十八番 十六番

淺田飴
咽喉をいやし聲を發せしむ 病後のよわり 起るたんせき 肺病より 貧血性諸症
本舖東京大阪堀内
せきによくてあまし

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九百四番●千六十八番 振替口座京城十六番

仁川海水浴場開始
一場所 萬石洞猫岬舊砲臺下
一日時 毎日午前七時より午後七時迄尤も納涼は此限りにあらず
一入場料（會員外）大人五錢小兒半額
一辨當仕出 洋食、壽し、うどん、汁子、辨當及麥酒、サイダー等の飮料は特に廉價にて貴需に應す
一電話其他の設備 （四一〇番）電燈、水道、噴水の設備成り休憩場脫衣場、其他遊泳具及浴衣等の設けあり
一遊漁 仁川用達社にては漁舟漁具御は勿論斯道の經驗に富める案內者を置き何時にても遊漁の求めに應す
一新聞雜誌 十數種を備ふ小說縱覽所を設け新刊の小說及び日々新聞雜誌
一交通設備 仁川人力車組合にては特に賃金の割引をなし仁川阜頭海水浴場間は仁川用達社の通船を備へ迅速御乘用に便す
一遊技 大弓、其他の設けあり
尙ほ／＼夜間は素人角力等の催しも有之候間各位御來遊希上候
一南大門及龍山の兩驛にて往復切符土曜日曜日割引券發賣
一三等往復金七十五錢
一二等同 一圓六十錢
一仁川宿館組合は宿料三割引
一料理店組合は酒肴料一割引
仁川萬石洞猫岬舊砲臺下
仁川海水浴場

名譽銀牌受領
キリンビール

入院隨意
京城壽町三丁目（電話三七八番）
中島醫院
院主 醫學士 中島貞信

本舖 大阪四ッ橋西南詰南 本林丁子堂
商標 キナエン丸
（キナエン丸は全國到る處の藥店に取次有御求の節は丁子の商標に御注意を乞ふ）
代理店 京城南大門通三丁目電話九〇四番 振替口座京城十六番 一〇六八番 新井藥房
一包入 五錢 五包入 廿錢 十一包入 廿五錢 十六包入 卅五錢 廿八包入 五十錢

胃腸新藥
タカヂアスターゼ
東京三共合資會社朝鮮總代理店
仁川本町 竹田津三平

●夏物荷着
●各簾類 ●各茣蓙類 ●小供車
●芦屏風 ●花茣蓙 ●飯籠
●蠅入ラズ ●座蒲團 ●鉢蓋
家具、漆器、唐木製品、諸金物類、柳行李、諸荒物類其他日用世帶道具一式
弊店は總て內地製造工場と直接特約致居候へば非常なる廉價にて小賣も御直を以て御貴需に應可申候間多少共御試買之程願上候
仁川港新町一丁目（西北角）
津田兄弟屋
電話七六二番 振替口座京城三八九番

日本蓄音器商會 朝鮮總代理店
日朝鮮音譜 本音譜
各種品揃
音譜目錄無代進呈
地方の御注文は振替口座又は引換小包にて御送附可仕候
大聲發音器

歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商
京城本町 辻屋
電話二四八番 振替口座八七番

齒科 治療
本町六丁目（鐘そば横町）
ドクトル 中村安子
女子見習募集年齡十八歲以上
（電話一五八三）

龍山櫻町百十一番戶
整骨專門治療院
主任醫 村田象一
毎日午後二時より五時迄出張
但し先代よりの家傳と當時の治術とを斟酌し如何樣の折骨挫傷も之を治療せしむ
先代の門弟 助手 中野伊之七

本劑は全國到る所の賣藥店にて取次販賣せり
商標登錄
健胃固腸丸
くだり病一切の特効藥
●主治
●赤痢病●コレラ病●腸胃加答兒等に用ひて實効速なり
●常に懷へ置き朝夕五粒づゝ服用せば腸胃の衰弱を治し食物の消化を助くす
藥價 二十五粒入 五錢 五十粒入 拾錢 百粒入 貳拾錢 三百粒入 五十錢 七百粒入 壹圓
本舖 大阪市東區伏見町堺筋角 谷回春堂
（電話東四五八番）（振替貯金番號八三〇）
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話一〇六八番 九〇四番 振替口座京城十六番
商標の谷回春堂と御注意を乞ふ

土地建物鑛山株券賣買
一債權及確實なる債權に對し低利貸金す
一漢江上流に在る赤松長五六間のもの二十萬本賣物あり
一市內適當の場所にて印刷業者へ適當の機械附屬品全部讓り物あり
小林藤商店
一京釜線太田驛附近の田畓（三四甲以內の處）
一京仁線以西の田畓右買ひ度し
急申込まれたし賣物あらば至急申込まれたし
良好の金銀銅鐵
礦山石綿山買物あり
京城明治町三丁目 電話六五五番

●貸家 貞金町の最も便利よき所
右御入用の御方は大和町一丁目軍司令部通大和俱樂部內 辻伊重迄

醸造元 仁川萬石町
最上醬油
高杉醸造所
電話七六五番

水車唐箕製造販賣
京城明治町百七番戶
土井米吉工場
電話千三百二十六番

資本金五百萬圓
神戶海上運送火災保險株式會社
出張所 京城明治町一丁目
（電話一五四九）

●牛乳
弊場にては特に優良なる牛乳を搾取販賣仕候
仁川京町四丁目 深堀牧場
電話五四五番

文房具 和洋紙 測量器械
日本政府檢定濟度量衡器特許輸入販賣所
シノサキ本店
京城本町一丁目（郵便局前）
電話長七百五番 電話六四八番 振替口座朝鮮一五四番

商標 名譽 帝四海
光鳳
醸造元
仁川宮町三丁目
深見勝三郎
電話二四八番
電信略號 フ

眼科 日曜及祭日は午後二時迄
京城本町一丁目（電話三十三番）
江頭眼科醫院
醫學得業士 江頭富雄

新荷着
浪平板洋釘各種
多數御入用の御方は特に安價に御相談致可候
京城本町貳丁目
和洋金物商
佐野彥藏商店
電話一六三番 振替口座京城一二〇番


京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島寧藏
（電話四百四十二番）

★株式會社百三十銀行 京城支店
電話百九十四番 振替貯金口座一二五十
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、神戶、兵庫、京都、西陣、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市
東海道 平野、住吉、御影、東京、橫濱、大磯、靜岡、津、岡崎、濱松、半田、桑名、熱田、四日市、山田、松阪
東山道 龜山、彥根、大津、八幡、長濱、大垣、岐阜、中津、宇都宮、伊勢崎、前橋、若松、福島、秋田、代、土崎、青森、仙台、北方
北陸道 金澤、小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、宮津、高岡、富山、伏木、新潟
山陰道 米子、境、松江、久手、太田
山陽道 岡山、姫路、龍野、網干、岩見、倉敷、高梁、尾の道、玉島、三原、廣島、呉、小郡、平生、防府、山口、德山、小月、下之關
南海道 和歌山、田邊、明石、津山、串本、高松、坂出、新宮、今治、西條、松山、吉田、洲本、幡濱、宇和島、高知、徳島、郡中
西海道 門司、福岡、博多、直方、飯伯、大分、別府、臼杵、佐世保、唐津、佐賀、若津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、井、宮崎、八幡、小倉、中津
神繪
北海道 小樽、函館、札幌、旭川
台灣 臺北、臺南
韓太 本泊
朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、群山、木浦、元山、城津、清州、大邱、全州、羅南、安東縣、大連、營口、奉天
淸國
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

京割烹 茲齊流
すゞ津 祢
南山町一丁目
電話千五百二番

㊎ 芙江 公州 間 定期出帆
芙江發毎日午後一時四十分公州着
公州發毎日前七時芙江着
御客樣の御乘用として新聞雜誌等を御備付あり
京釜線芙江驛前 中條運送芙江支店

七月中 瀛船出帆
キ
三省丸 屯串行 八月
天草丸 濟州行 八月
成歡丸 濟島行 八月
濟利丸 海州行 八月
成歡丸 大湖芝行 八月八日前
仁川本町四丁目
合資會社 秋田商會船舶部
電話一七三七番

元扱 瀛船出帆廣告
安東縣行 三笠丸 八月七日 未明
仁川本町二丁目（電話八〇番）
仁和洋行 竹川津三平